

私立 九州造形短期大学

取組名称 九州造形短期大学就職支援プロジェクト事業

取組担当者 キャリア支援委員会 委員長・造形芸術学科 教授 田辺 幹夫

1. 本学の概要

九州造形短期大学は、学校法人中村産業学園が設置する美術系短期大学であり、九州芸術学院を母体として1968(昭和43)年4月に開学した。開学当初は、入学定員美術科30名・デザイン科60名・写真科30名で発足した。1980(昭和55)年5月には福岡市箱崎から同じ学園に属する九州産業大学がある福岡市東区松香台に校舎を新築移転、現在に至っている。

開学当初から3科を配してきたが、2007(平成19)年4月造形芸術学科(1学科13専攻)定員200名に改組した。2010(平成22)年5月1日現在で301名の学生が在籍している。造形芸術学科は、内容の多彩さが特徴で『革新的な専門教育』『きめ細かなキャリア教育』『充実した教養教育』を3本の柱とした教育を行っている。

学校法人中村産業学園では建学の理想等として以下のとおり定めている。

「建学の理想と理念」

〈理想〉産学一如

〈理念〉造形の伝統を継承

産業社会に有用な人材育成

「ビジョン」

九州造形短期大学は、広く産業界の期待に応えられる“実践力” “熱意” “豊かな人間性”を持った人材を輩出する大学をめざす。

「行動理念」

教職員は、

- 学生が人生の目標や夢の実現に向かって取り組むことができるよう、あらゆる支援を惜しまない。
- 学生のニーズや環境の変化を的確に捉え、迅速に行動する。
- 自分を大切にし、まわりの人と誠実に関わり、責任をもつ。
- 常に改善と改革の意識を持ち、創意工夫を心がける。

2. 本取組の概要

本取組は、九州造形短期大学の学生及び卒業生の就職を支援するため、既存の「九州造形短期大学キャリア支援委員会」の下に教員1名、事務職員及び就職相談員(キャリアカウンセラー)をメンバーとした「就職支援プロジェクト」を新たに設置し、学生の就職率の向上やキャリア形成の促進を図ることを目指している。

〈就職支援プロジェクトにおける具体的な取組〉

- (1)九州各県等の造形芸術関連企業の求人情報の収集(求人発送件数1,000社)
- (2)在籍学生に対する授業やキャリアガイダンスを通じたきめ細かな支援・指導体制の強化
- (3)資格取得に特化したカリキュラムの改正、資格取得講座の開設等による新規求人企業の開拓(企業訪問数100社)
- (4)併設校九州産業大学キャリア支援センターとの連携(学内企業セミナー参加・求人情報の提供)
- (5)卒業生の未就職者に対するハローワーク等との連携による継続的な求人情報の提供



写真1 併設校 九州産業大学キャリア支援センター

3. 本取組の趣旨・目的・達成目標

(1) 取組の趣旨・目的

上記の5項目について論議し、実践を行うことによって、求人企業数の増加を図るとともにカリキュラム改正によって学生の資格取得を推進し、併設校の九州産業大学キャリア支援センターとの連携により、本学学生及び卒業生に対する継続的な就職支援体制の強化・充実を図り、結果として本学学生の就職率を向上させることを目的としている。



写真2 キャリア支援センターパソコンコーナー

(2) 達成目標

達成目標としては、本学の特色を生かした造形芸術関連企業及び芸術系資格取得者に対する求人企業数の増加を図り、就職希望学生の多くが専門職で就職できる環境を整備することを目標としている。

4. 本取組の具体的内容・実施体制

(1) 本取組の具体的内容

本プロジェクトの上記5項目の取組を進めるため、「ハローワーク」、「福岡学生職業センター」及び「福岡県若者仕事サポートセンター」等と連携しつつ、図1～3のようなリーフレットを作成し、毎年100社程度の企業訪問を行って就職先企業の開拓に努めている。また、学生の就職意欲を高めるため、プライマリーセミナー（必修）やキャリア・プランニング（必修）といった正課の授業においてキャリア教育を強化するとともに課外の就職セミナーの充実を図った。そのほか必修科目として日本語文章表現Ⅰ・Ⅱを課している。



図1 企業向けリーフレット（表紙）

さらに、キャリアカウンセラー1名（写真3）を配置して、常時継続的に学生の就職活動の支援に当たっている。



図2 企業向けリーフレット（学科体系図）



図3 企業向けリーフレット（フィールド・専攻紹介）

(2) 実施体制

学科主任を中心とした既存の教員組織の「キャリア支援委員会」をベースに、新たに設置した「就職支援プロジェクト」の構成メンバーは、教員に加え、事務職員、キャリアカウンセラーである。



写真3 キャリアカウンセラーによる就職指導

5. 本取組の評価体制・評価方法

本取組については、実施結果に基づき、キャリア支援委員会において、事業内容の再検討を行い、より充実した今後の就職支援活動の在り方を検討する。

例えば、プライマリーセミナー、キャリア・プランニング、就職セミナー、キャリアカウンセラーによる助言等就職指導が多元的であるため、それらの役割分担等を改めて考える必要がある。また、ハローワーク、福岡学生職業センター、福岡県若者しごとサポートセンター等、支援団体からの評価を確認しながら今後の就職支援プロジェクト事業の評価体制を構築する。

6. 本取組の実施計画等

本取組では、学生の就職率向上のために、企業の求人情報の収集、学生に対するきめ細かな指導、資格取得に特化したカリキュラムの改正資格取得講座の開設等の支援体制の整備を図り、企業開拓及び実践に即したセミナー等を開催することにより、造形芸術系の専門職を中心とした就職環境の整備を目指す。

なお、財政支援終了後も在学生・卒業生に対するより充実した就職支援活動を継続的に行い、強力な就職支援活動として、取り組むものである。

